

# 2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

2024年11月8日

田中建設工業株式会社

(東証スタンダード:1450)

- 1 会社概要 ……2
- 2 2025年3月期 第2四半期実績 ……5
- 3 2025年3月期 計画及び進捗状況 ……14



1

# 会社概要

会社概要（企業理念・経営理念・特徴）／ビジネスモデル

田中建設工業株式会社



# 会社概要

人にやさしい環境づくり

会社名	田中建設工業株式会社 (TANAKEN)
設立	1982年2月3日
所在地	東京都港区東新橋一丁目9番1号
代表者	代表取締役社長 中尾 安志
資本金	297,156千円
従業員数	107名 (2024年9月末)
主要株主	スリーハンドレッドホールディングス株式会社 63.01% (創業者 田中俊昭の資産管理会社)
事業内容	建築構造物解体工事の施工及び施工管理

## 企業理念

「子供たちに何が残せるか」を常に考え、明日のために今日できることを実行し、社業を通じて「人にやさしい環境づくり」に貢献します。

## 経営理念

### 思いやり

TANAKENは、「環境への思いやり」「お客様への思いやり」「地域への思いやり」「社員及び家族への思いやり」を大切にします。

### 信頼

TANAKENは、「技術への信頼」「会社への信頼」「社員への信頼」を基に、お客様からの揺るぎない信頼と評価を得ることを目指します。

### 感謝

TANAKENは、「お客様への感謝」「家族・仲間への感謝」「仕事への感謝」を胸に刻み、社会の発展に貢献します。

## 特徴

- 1 建築構造物の解体に関する工事をワンストップで受注・施工が可能。
- 2 解体工事は協力会社が行い、当社は**施工管理、安全管理、近隣サポートに集中。**
- 3 施工管理に徹した「**持たざる経営**」(\*)により**高い経営効率を実現。**  
(※当社は重機を一切保有していません)

## ビジネスモデル

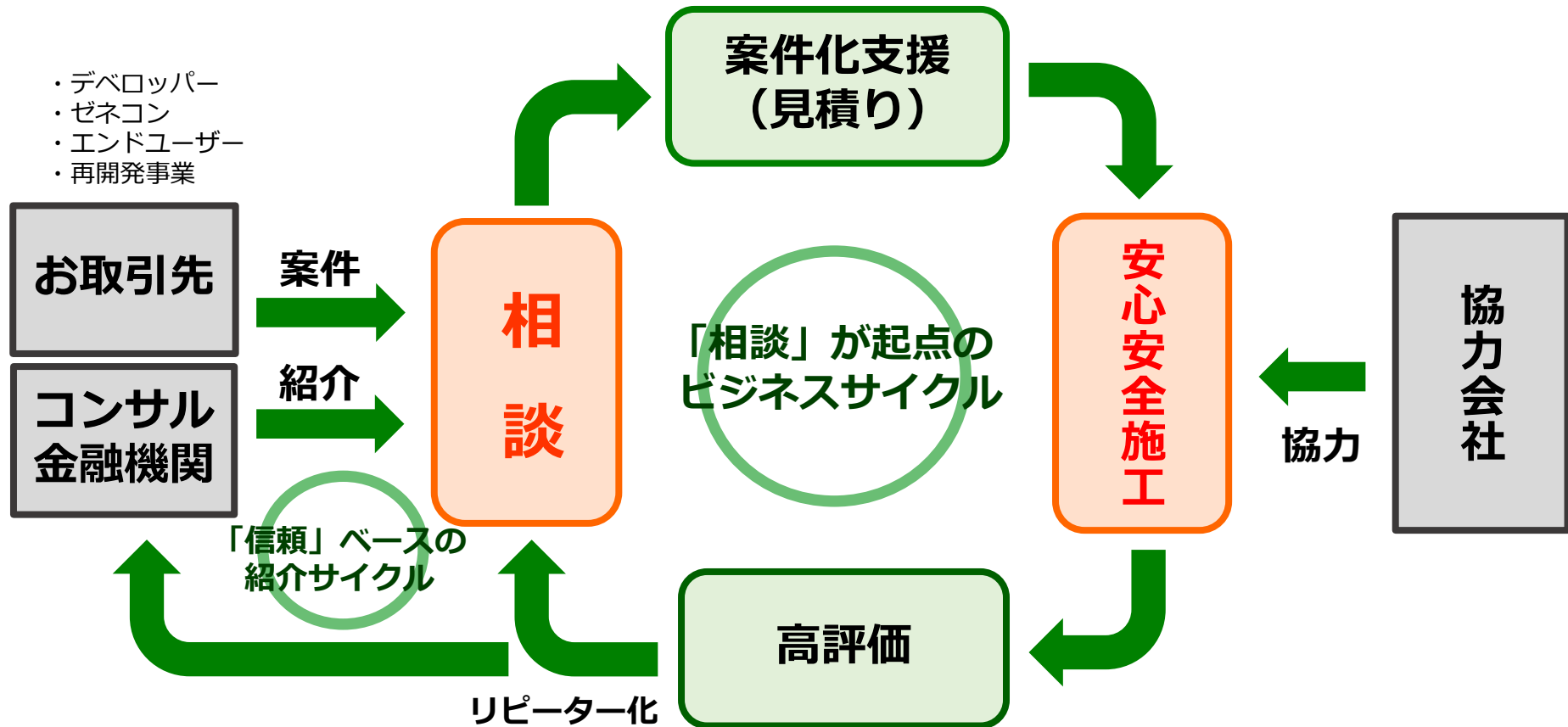
長年にわたり安心・安全な施工管理を積み重ね、**収益性と安全性を兼ね備えたビジネスモデルを構築。**

- 相談を起点とした効率的な営業サイクル。
- 安心安全な施工管理と丁寧な近隣サポートが高評価。
- 大型工事の元請受注を可能とする良好な財務内容。

# ビジネスモデル

人にやさしい環境づくり

- 安心安全施工をベースに、「相談」を起点とした効率的な営業サイクルを構築。
- 信用力・提案力・技術力・良好な財務内容が評価され、元請率は高水準を確保。



2

# 2025年3月期 第2四半期実績

損益実績／財務状況／受注状況／ビジネスモデルの強化／主要指標

田中建設工業株式会社



# 2025/3期 第2四半期 損益実績（累計）

人にやさしい環境づくり

- 大型案件の着工ズレ等の影響により売上高の計画進捗率は43%となったが、工事大型化に伴う生産性向上等もあり、利益面は順調。前年同期比で増収増益。
- 堅調な受注環境を背景に受注残高も潤沢であり、通期計画の達成を目指す。

金額単位：百万円

	24/3期 2Q累計	25/3期 2Q累計	前年 同期比	25/3期 計画	計画 進捗率
売上高	4,401	5,639	+1,238	13,000	43.4%
売上総利益 (率)	964 21.9%	1,527 27.1%	+563 +5.2p	— —	— —
販売費及び一般管理費	437	437	±0	—	—
営業利益 (率)	526 12.0%	1,089 19.3%	+563 +7.3p	1,600 12.3%	68.1% —
経常利益 (率)	548 12.5%	1,094 19.4%	+546 +6.9p	1,650 12.7%	66.3% —
当期純利益	328	681	+353	1,100	61.9%

# 2025/3期 第2四半期 損益実績（四半期別）

人にやさしい環境づくり

- 大型案件の着工ズレ等の影響はあったが、1Q、2Qともに前年同期比で増収増益。
- 四半期別の利益率も工事大型化に伴う生産性向上等により、前期比で大幅に増加。

金額単位：百万円

	24/3 1Q	25/3 1Q	前年 1Q比	24/3 2Q	25/3 2Q	前年 2Q比	同年 1Q比
売上高	2,285	2,585	+300	2,115	3,054	+939	+469
売上総利益 (率)	527 23.1%	706 27.3%	+179 +4.2p	436 20.6%	820 26.9%	+384 +6.3p	+114 ▲0.4%
販売費及び一般管理費	224	224	±0	213	213	±0	▲11
営業利益 (率)	303 13.3%	482 18.6%	+179 +5.3p	222 10.5%	606 19.8%	+384 +9.3p	+124 +1.2p
経常利益 (率)	319 14.0%	483 18.7%	+164 +4.7p	228 10.8%	611 20.0%	+383 +9.2p	+128 +1.3p
当期純利益	188	299	+111	140	381	+241	+82



# 2025/3期 第2四半期 財務状況

人にやさしい環境づくり

- 有利子負債なくキャッシュポジションも高水準、自己資本比率79%と良好な財務内容を維持し、資金調達にも余力あり（既存借入枠40億円）。
- 大型工事受注に伴う資金負担にも十分に対応できる体制を確保。

金額単位：百万円

	24/3期	25/3期2Q	前期末比	備考
流動資産	7,735	7,867	+132	
うち現預金	2,401	3,163	+762	
うち完成工事未収入金	4,451	4,448	▲3	
固定資産	1,384	1,404	+20	
流動負債	2,032	1,847	▲185	
うち有利子負債	—	—	—	借入枠の利用なし
固定負債	97	103	+6	
純資産	6,990	7,321	+331	
総資産	9,119	9,272	+153	
自己資本比率	76.7%	79.0%	+2.3p	
ネットキャッシュ	2,401	3,163	+762	

# 2025/3期 第2四半期 受注状況

人にやさしい環境づくり

- 堅調な受注環境を背景に、当期受注高80億円、繰越受注高94億円と順調に推移。
- 既存取引先に加えて、再開発、新規開拓に注力し、受注の更なる積み上げを図る。

金額単位：百万円

	23/3期 2Q累計	23/3期 通期実績	24/3期 2Q累計	24/3期 通期実績	25/3期 2Q累計	前年 2Q比
前期繰越受注高	4,545	4,545	5,381	5,381	7,069	+1,688
当期受注高	6,345	12,082	6,024	12,364	8,002	+1,978
当期完工高	6,022	11,246	4,401	10,676	5,639	+1,238
当期繰越受注高	(※) 4,788	5,381	7,004	7,069	9,431	+2,427

※基幹システム本格稼働に伴い、従来管理との誤差修正（▲80百万円）

# ビジネスモデルの強化（フロービジネスのストックビジネス化）

人にやさしい環境づくり

- 安心安全施工をベースに、「相談」を起点とした効率的な営業サイクルを構築。
- 一方、絶えず受注を取り続ける必要があるフロービジネスであり、ストック化が課題。

- 中長期的な視点に立った相談ベースの提案営業（2～3年先）に注力。
- 営業案件ストックの持続的な維持拡大により、安定的な受注獲得に繋げる。
- 営業案件ストック残高は、400億円超を維持していく。

## 営業案件ストック残高

金額単位：百万円

	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2024/9	前期末比
件数	198	185	182	206	174	▲32
金額	42,814	41,661	46,263	56,329	53,243	▲3,086

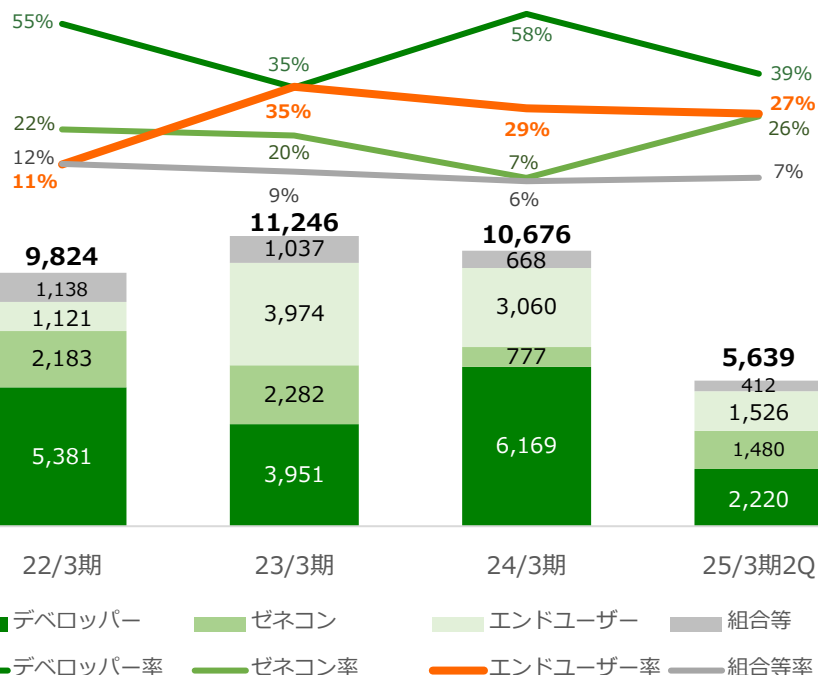
# 主要指標 1 (営業先別、請負先別の売上高)

人にやさしい環境づくり

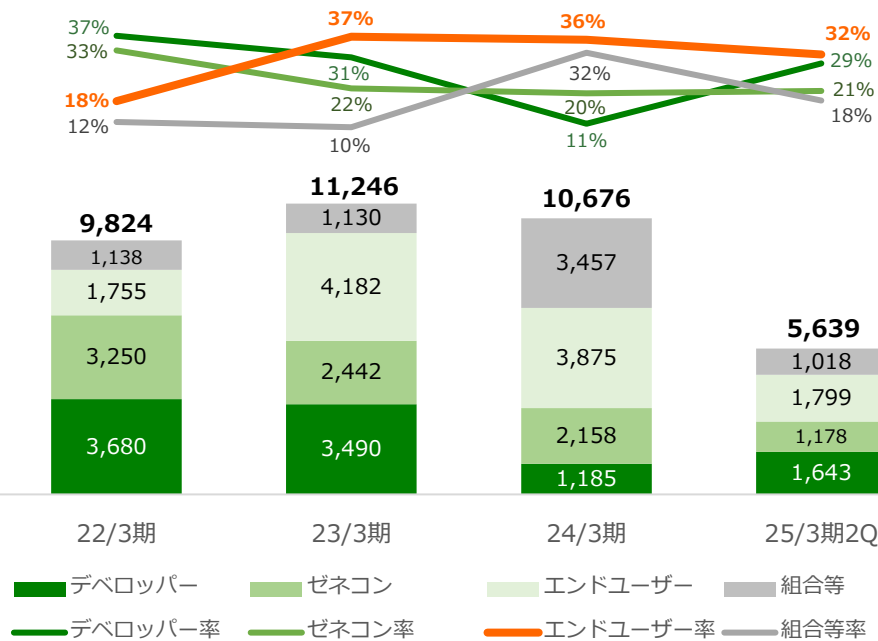
- 新規開拓によるエンドユーザー向けは増加傾向にあり、また再開発も順調。
- 人財需給の逼迫・資材価格上昇等に伴う新築コストの増加により、新築と解体の分離発注が進む等、営業先と請負先が異なるケースも増加。

金額単位：百万円

## 営業先別売上高



## 請負先別売上高



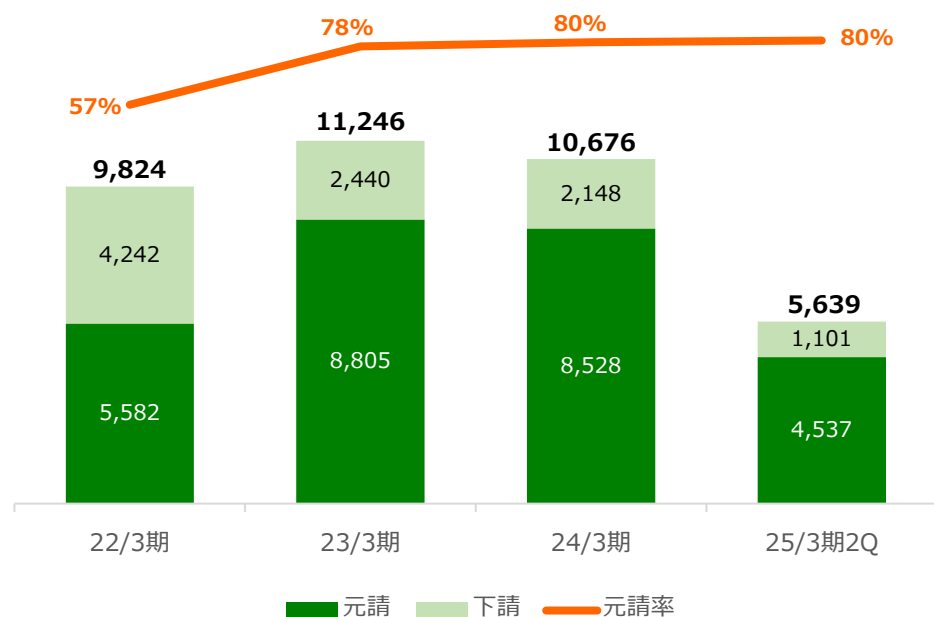
## 主要指標 2（元請率、リピート顧客率）

人にやさしい環境づくり

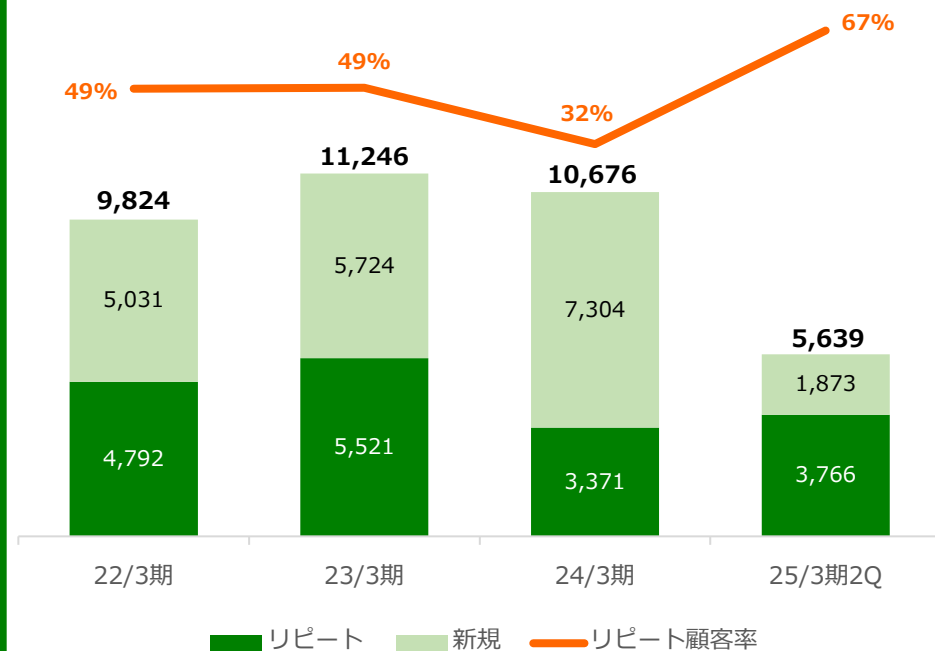
- 新規開拓によるエンドユーザー及び再開発の増加により、元請率は好調に推移。
- 新規開拓による顧客基盤の拡大により、リピート金額は増加傾向にある。

金額単位：百万円

### 元請率



### リピート顧客率



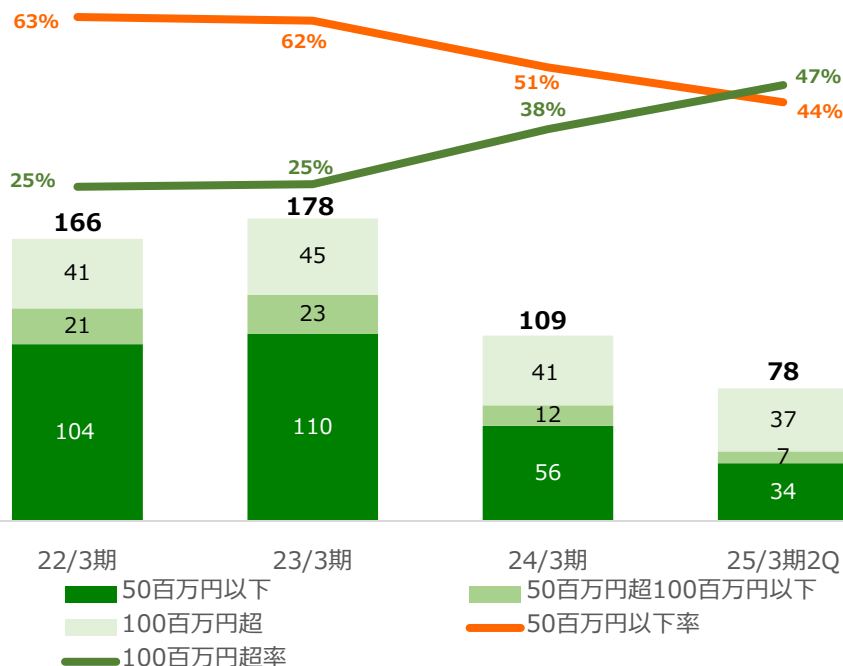
# 主要指標 3 (規模別、工期別の工事件数)

人にやさしい環境づくり

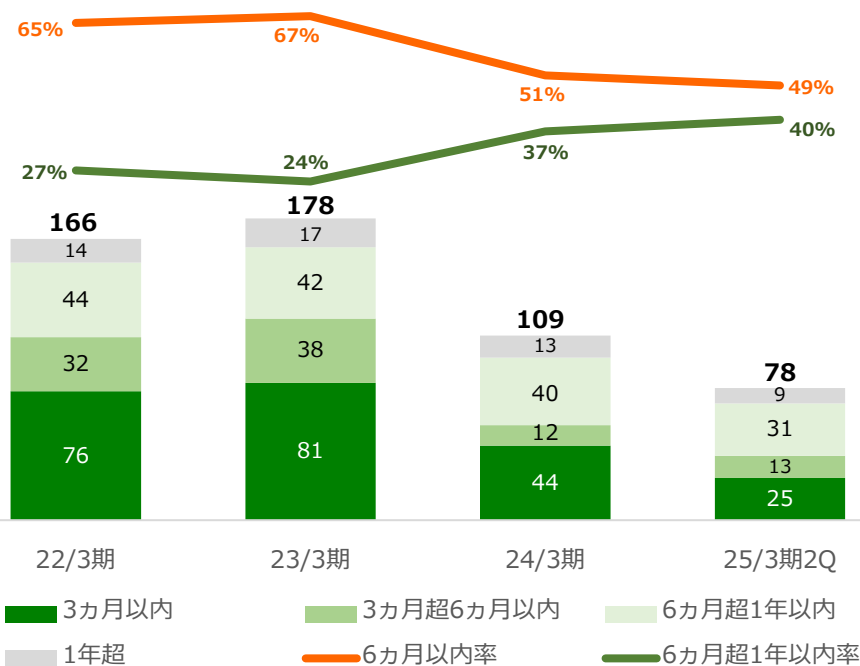
- 安心安全施工をベースとした信用力・技術力・良好な財務により受注工事は大型傾向。
- 大型工事は、生産性向上、施工管理者の育成・スキルアップ、技術力の向上に寄与。

単位：件

## 規模別工事件数



## 工期別工事件数



3

# 2025年3月期 計画及び進捗状況

中期経営計画の概要／計数計画の進捗状況／営業施策の進捗状況／  
主要施策の進捗状況／配当政策

田中建設工業株式会社



# 中期経営計画の概要

人にやさしい環境づくり

- 中期経営計画「TANAKEN “Vision NEXT 10” **Primary Phase** (FY2023～2025)」は、10年後を展望した長期ビジョンの実現に向けた「**基盤構築のための3カ年計画**」。
- 持たざる経営の競争力の源泉である人財、技術、アライアンスを強化していく方針。

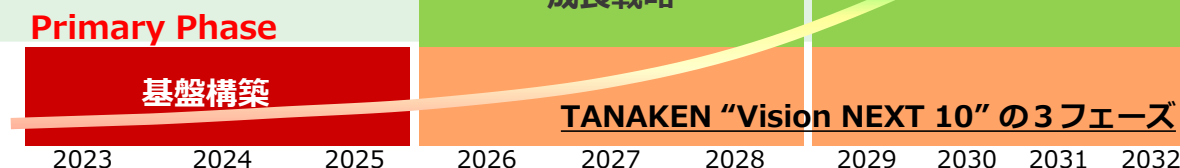
## TANAKEN “Vision NEXT 10” における10年後のあるべき姿

- 1 将来にわたりお客様から信頼される会社になる
- 2 環境に配慮した安全施工を実現する
- 3 業界のリーディングカンパニーの地位を確実なものにする

## TANAKEN “Vision NEXT 10” Primary Phase の基本方針

「持たざる経営」の競争力の源泉である人財、技術、アライアンスを強化する

- 1 TANAKENブランドの価値向上
- 2 人財の量的・質的な充実
- 3 安全施工のための技術開発強化
- 4 アライアンス戦略・DX戦略の拡充
- 5 企業価値向上に寄与するSDGs・ESG経営





# 計数計画の進捗状況

人にやさしい環境づくり

- 2025/3期2Qは、着工ズレ等の影響により売上高の計画進捗率は43%となったが、堅調な受注環境を背景に受注状況は順調、利益面も生産性向上等により好調推移。
- 人事担当増員、採用サイト・採用パンフレットの作成等、採用を強化するも採用を上回る退職もあり、難航。引き続き採用ブランディング策を進め、人員増強を目指す。

金額単位：百万円

	24/3期 計画	実績	25/3期 計画	修正計画	2Q実績	進捗率	26/3期 計画
売上高	12,000	10,676	13,000	修正なし	5,639	43.4%	14,000
営業利益	1,385	1,608	1,600		1,089	68.1%	1,700
経常利益	1,400	1,640	1,650		1,094	66.3%	1,750
当期利益	945	1,090	1,100		681	61.9%	1,200
人員	124名	105名	140名	123名	107名	87.0%	160名
うち施工管理者	55名	47名	65名	55名	44名	80.0%	70名

## <基本方針>

中期経営計画の最終年度売上高140億円達成に向け、更なる営業力の強化を図る。

<主要施策>		<進捗状況>	
1	都市再生案件の取り込み	再開発、商業施設、物流センター等の大規模な都市再生案件を中心に、元請工事案件の受注に注力し、受注拡大を図る。	信用・実績の積み上げにより大型案件の受注増加。案件情報の入手に注力。
2	顧客基盤の充実	デベロッパー、ゼネコン及びエンドユーザー等の既存顧客基盤に加え、新規開拓により顧客基盤の更なる拡充を図る。	紹介中心に新規開拓順調。CRMシステムを有効活用。
3	地下関連工事の受注拡大	地上部解体に加えて地下解体関連工事（杭抜き、CD工法、BG工法、地中障害対応、流動化土打設、湧水対策等）の受注拡大を図る。	プロジェクトへの適切な提案により、上屋解体から地下解体工事を取り込む流れを構築。
4	環境改善関連工事の受注	今後、増加が予想される石綿除去、土壌汚染対策工事等について協力会社と連携し、環境改善分野の需要取り込みを図る。	法改正にもスピーディに対応し、受注堅調。アライアンスにより石綿調査・除去、土壌汚染対策等の体制を強化する。
5	情報管理と人財育成	CRMシステムを有効活用したフォロー体制により、顧客満足度を向上させ、リピート案件の増加を図るとともに、営業人財育成により営業力を強化する。	CRMシステムを有効活用し、顧客満足度を向上。営業人財を指導育成中。

# 2025/3期 主要施策の進捗状況

人にやさしい環境づくり

＜主要施策＞		＜進捗状況＞	
1	TANAKENブランドの価値向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>TANAKEN株式会社への社名変更（2025年4月に変更）、採用パンフレット、採用サイトの新規作成等、ブランドPR策を実施。</li> <li>安心安全施工をベースとしたTANAKENブランドの理解浸透と認知拡大により競争力強化、顧客満足度向上、人財確保強化を図る。</li> </ul>	採用パンフレット、採用サイト新規作成。社名変更を機にブランディングPR策を検討実施中。
2	人財採用強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事担当増員、採用ブランディング実施、採用チャネル拡大により採用強化。</li> <li>施工管理者のみならず、全職種で即戦力、次世代社員の採用を強化。</li> </ul>	採用サイト・採用パンフレットの作成、採用チャネル拡大、面接方法改善。
3	人財マネジメント体制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事制度、評価制度、処遇を見直し、制度面の再構築を実施。</li> <li>入社時研修、安全教育、スキルアップ等の研修制度を拡充。</li> <li>週休二日制、現場サポート強化等により働き方改革を推進し、時間外労働削減を図る。</li> </ul>	人事制度、評価制度、処遇の見直しを実施中。働き方改革を推進中。
4	施工管理体制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業、計画、施工の連携強化により大規模現場への対応力の増強を図る。</li> <li>協力会社とのパートナーシップ拡充、施工管理を中心としたアライアンス探索。</li> <li>TANAKEN安全協力会による安全衛生指導・教育支援の強化。</li> </ul>	大規模現場への対応力強化のため業務フロー見直し中。アライアンスを検討中。
5	技術開発の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存工法の更なる安全施工技術開発、専門業者・専門家との新工法開発。</li> <li>現場ITサポートシステムレベルアップ、BIM三次元モデルの更なる活用。</li> </ul>	大学、専門業者との共同開発、共同研究を実施中。
6	DX強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内ネットワーク環境の改善及びセキュリティ強化を図る。</li> <li>DX化による業務効率化、ペーパーレス化等により生産性向上を図る。</li> </ul>	本社移転を機にシステム化を進め、生産性を向上。

## 配当方針

当社は、継続的な成長と株主の皆様への利益還元を経営の最重要目標として位置づけており、継続的な成長のための財務体質の強化と株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元とのバランスを勘案しつつ、株主の皆様への利益還元を充実していくことを基本方針としています。

## 25/3期 配当予定

- 上記配当方針に則り、予想される業績・純資産を考慮して以下を予定。
- 既に公表している配当予想から変更なし。

**1株当たり配当金**

**80円00銭**

**1株当たり当期純利益**

**252円91銭**

**配当総額**

**348百万円**

**配当性向**

**31.63%**

本資料にある内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な重要要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりえることをご了承ください。

## IRに関するお問い合わせ先

田中建設工業株式会社 管理本部

TEL：03-6264-5520

\*受付時間：9:00-17:00

(土日祝日及び当社休業日を除く)

